

沼津と修善寺 直結

交通事情が劇的改善

短縮3分の1に 東名から函南14分

「第3の黒船」と伊豆地域の期待を担った伊豆縦貫自動車道は、先行施工した東駿河湾環状道路がいよいよ2013年度中に全線開通し、伊豆中央道に接続する。天城北道路も昨年暮れに着工、河津下田道路も事業化が決まり、着工に向けた準備が進む。長年不便を強いられてきた伊豆の交通事情は近い将来、劇的に改善される。

東駿河湾環状道路は、東名高速道路沼津インタ―チェンジ(ＩＣ)と接続する沼津岡宮ＩＣと函南町平井の函南ＩＣを結ぶ全長15㎞。09年7月に沼津岡宮ＩＣと三島塚原ＩＣ間10㎞が開通。10年4月に長泉ＩＣと三島秋ＩＣを結ぶ連絡路が開通。

昨年3月に三島加茂ＩＣ、4月には新東名高速道路の供用に合わせて長泉沼津ＩＣが開通した。函南ＩＣから東側の山裾を南進し、伊豆市の天城北道路大平ＩＣに結ぶ当初のルートは、財政的に実現が難しい。このため、暫定措置として環状道路の大場・函南ＩＣと函南塚本ＩＣ間3・7㎞の連絡路をつくり、伊豆中央道に接続する。

環状道路と伊豆中央道の接続に伴い、東名・新東名から天城北道路大平ＩＣまで直結。国土交通省によると、完成後は東名沼津ＩＣから伊豆中央道入り口交差点まで現在の41分が14分に短縮される。

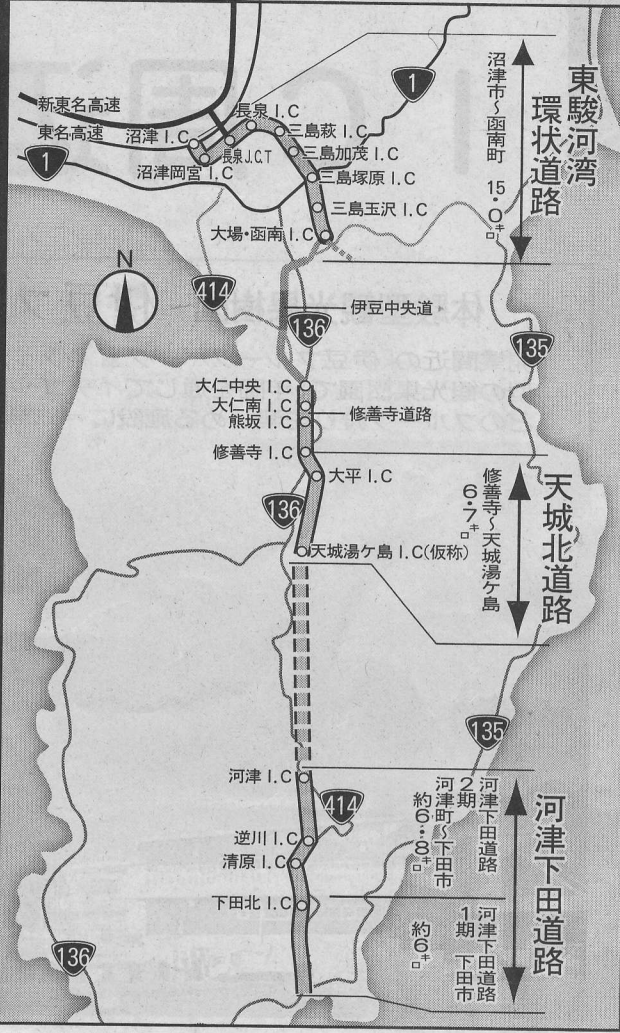
天城北道路は、修善寺ＩＣから伊豆市月ヶ瀬の天城湯ヶ島ＩＣまで6・7㎞。縦貫道への連絡路となる修善寺ＩＣから大平ＩＣまで1・6㎞は、08年4月に開通。昨年暮

れの日向トンネル着工に伴い、待望の本線工事が始まった。

縦貫道の本線5・1㎞は、狩野川の東側山岳部を4本のトンネルで貫

き、高架橋で結ぶ。天城湯ヶ島ＩＣは、国道414号と136号の分岐「出口交差点」から500㍍ほど南側の月ヶ瀬方面には、県が約700㍍の下船原バイパスを整備し、136号に結ぶ。

篠原付近に開設し、414号に接続する。西海岸



伊豆縦貫道路ルート図 ※破線は未定区間